チャートの作成

プロジェクトのテーブルから、複数のページに複数のチャートを作成し、保存・エクスポートする

◇機能

《チャート》は、プロジェクトのテーブルを元に、棒グラフ・折れ線グラフ・円グラフなどのチャートを作成する機能です。1つのチャートファイルに複数のページを作成でき、各ページに複数のチャートを自由に配置できます。作成したチャートは保存して、あとから開き直したり、PDF・Excelに出力したりできます。

チャートの元のデータは、テーブルの値を集計して作成されます（例：「営業担当者」ごとの「金額」の合計）。元のテーブルは変更されません。

※チャートの種類ごとの設定（軸・書式設定）は、それぞれのチャートの説明を参照してください。

※同じページのチャートは連動します。あるチャートの一部（例：円グラフの「東日本」）をクリックすると、ほかのチャートでその値の部分が強調表示されます（「■ チャートの連動（強調表示）」参照）。

※「スライサー」を配置すると、選択した値でほかのチャートを絞り込めます。

◇メニュー

《プロジェクト》-《チャート》

※新しい（空の）チャート画面が開きます。チャートは同時に1つだけ開くことができます。

※保存したチャートは、プロジェクトのツリーのチャートファイルをダブルクリックして開きます。

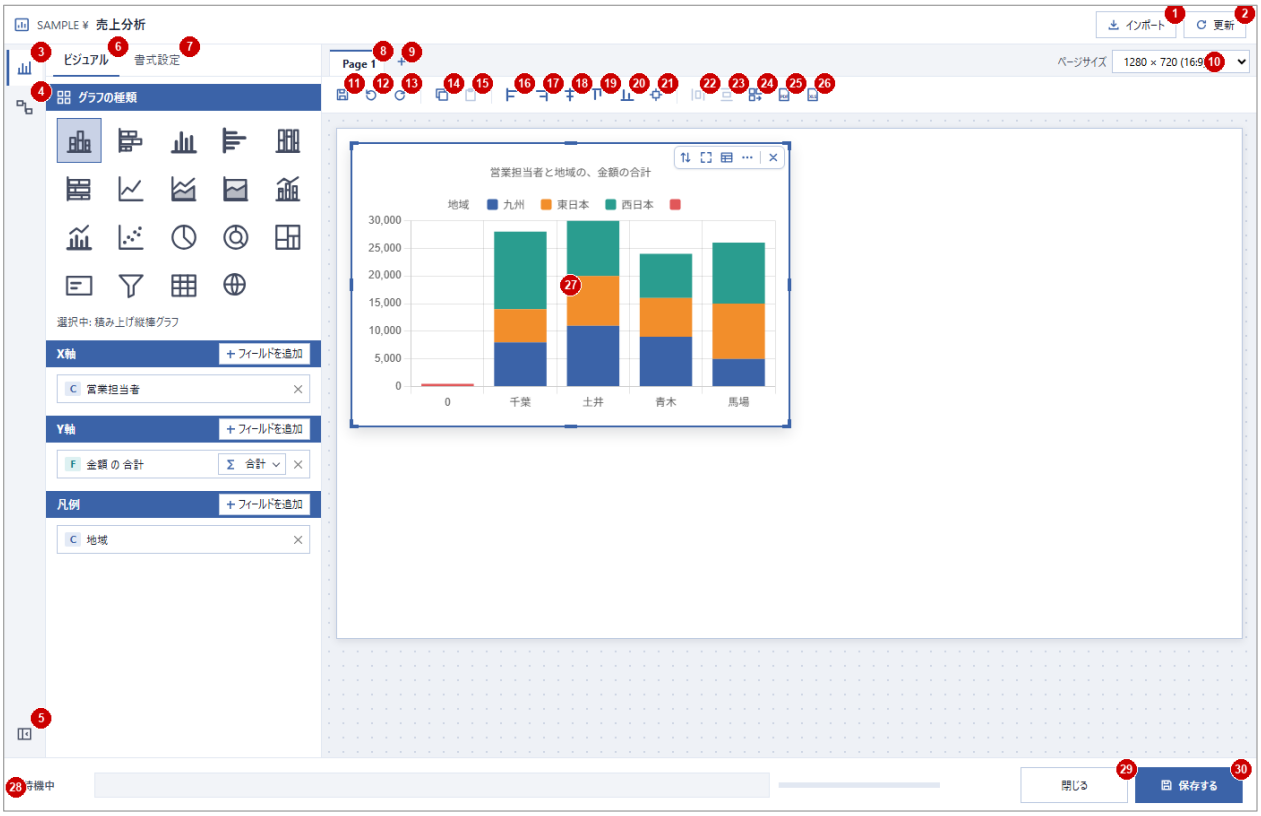
※操作ログの「CREATE CHART」の行からも、チャートファイルを開くことができます（「◇操作ログ」参照）。

※チャートの機能は、チャートを利用できるライセンスの場合に表示されます。

※新しく作成するチャートの書式の初期値は、メニューの《チャート設定》で変更できます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇設定内容



1. 《インポート》ボタン　：チャートで使用するテーブルを追加します。プロジェクト（参照プロジェクトを含む）のテーブルの一覧から選択します（「■ テーブルの追加」参照）。

2. 《更新》ボタン　：元のテーブルを読み直して、すべてのチャートを最新のデータで表示し直します。テーブルを更新したあとに使用します。

3. 《チャート》　：チャートを作成・編集する画面に切り替えます（開いたときの画面）。

4. 《リレーションシップ》　：チャートで使用するテーブル同士の関係（どのフィールドで結び付けるか）を設定する画面に切り替えます。複数のテーブルのフィールドを1つのチャートで使用する場合に設定します。

5. 《パネルを折りたたむ》　：左側のパネルを折りたたみ、ページを広く表示します。もう一度クリックすると開きます。

6. 「ビジュアル」タブ　：チャートの種類の一覧と、選択しているチャートの軸（使用するフィールド）が表示されます。
   - チャートを選択していない状態で種類のアイコンをクリックすると、その種類のチャートがページに追加されます。
   - チャートを選択した状態で種類のアイコンをクリックすると、そのチャートの種類が変わります。設定したフィールドは、新しい種類の対応する軸に移ります。

7. 「書式設定」タブ　：選択しているチャートの書式（軸の文字・タイトル・凡例・データラベル・色など）を設定します。

8. ページのタブ　：ページを切り替えます。ページごとに別のチャートを配置できます。
   - タブをダブルクリックすると、ページの名前を変更できます。
   - タブのメニューの「ページを削除」で、ページを削除します（「このページを削除しますか？」の確認があります）。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

9. 《＋》ボタン　：新しい空のページ（「Page 2」など）を追加します。

10. ページサイズ　：ページの大きさを選択します。初期値は「1280 × 720 (16:9)」です。
- 「1280 × 720 (16:9)」「1920 × 1080 (16:9)」「1024 × 768 (4:3)」「ウィンドウに合わせる」「カスタム…」から選択します。
- 「カスタム…」では幅・高さを入力します。幅は640～7680、高さは360～4320の範囲です。範囲外の値は範囲内に調整され、メッセージが表示されます。
- ページの大きさを変えても、配置したチャートの位置は変わりません。

11. 《保存する》ボタン（アイコン）　：チャートファイルを保存します。《保存する》ボタン（30）と同じです。

12. 《元に戻す (Ctrl + Z)》ボタン　：直前の操作（軸・書式の変更、チャートの移動・追加・削除など）を取り消します。

13. 《やり直す (Ctrl + Y)》ボタン　：取り消した操作をやり直します。

14. 《コピー (Ctrl + C)》ボタン　：選択しているチャートを、軸・書式の設定も含めてコピーします。

15. 《貼り付け (Ctrl + V)》ボタン　：コピーしたチャートを、表示しているページに貼り付けます。別のページにも貼り付けられます。

16. 《左揃え》～《下揃え》ボタン（16～20）
：選択している複数のチャートの位置をそろえます。Ctrlキーを押しながらチャートをクリックして、2つ以上選択します。
- 《左揃え》《右揃え》《左右中央揃え》：左端・右端・左右の中央をそろえます。
- 《上揃え》《下揃え》：上端・下端をそろえます。

21. 《上下左右中央揃え》ボタン　：選択しているチャートを、ページの中央に配置します。

22. 《水平方向に均等配置》《垂直方向に均等配置》ボタン（22、23）
：選択している3つ以上のチャートを、横（縦）の間隔が同じになるように配置します。

24. 《レイアウトを自動調整》ボタン　：ページのすべてのチャートを、重ならないように並べ直します（「■ レイアウトの自動調整」参照）。

25. 《PDFをエクスポート》《Excel エクスポート》ボタン（25、26）
：チャートをPDFファイル・Excelファイルに出力します。出力するページを選択する画面が表示されます（「■ エクスポート」参照）。

27. チャート　：ページに配置したチャートです。
- チャートの上部をクリックすると選択され、左側のパネルにそのチャートの設定が表示されます。
- ドラッグで移動、枠の周りの8か所の点をドラッグで大きさを変更できます。
- 選択したチャートの右上のボタンで、並べ替え・フォーカスモード・テーブル表示・画像やデータのエクスポート・削除ができます（「■ チャートのボタン」参照）。

28. 処理の状態　：更新やテーブルの追加などの処理の状態（「待機中」「実行中」「完了」「エラー」）と、実行しているコマンドが表示されます。

29. 《閉じる》ボタン　：チャート画面を閉じます。保存していない変更がある場合は、保存するかの確認メッセージが表示されます（「はい」：保存して閉じる、「いいえ」：保存せずに閉じる、「キャンセル」：画面に戻る）。

30. 《保存する》ボタン　：チャートファイルを保存します。同時に、すべてのチャートの「CREATE CHART」コマンドが操作ログに記録されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

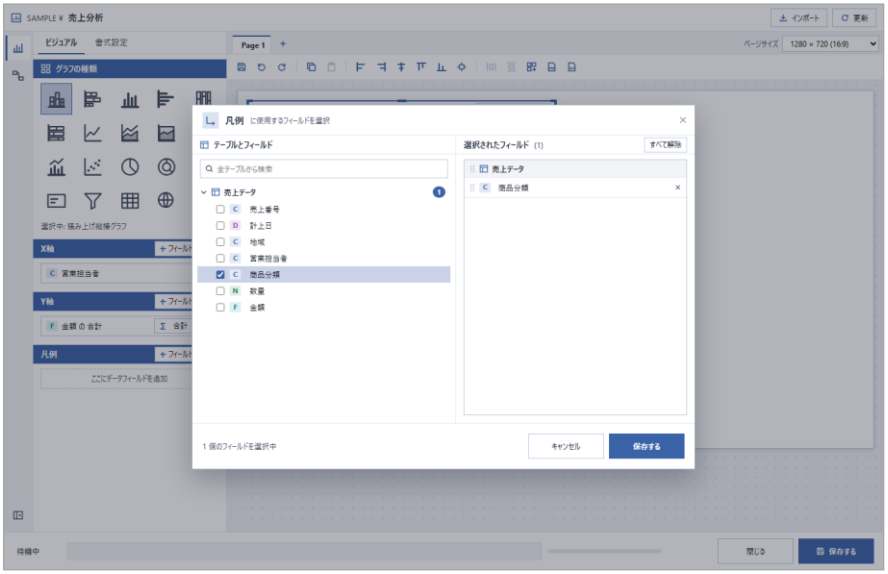
◇チャートの作成手順

1つのチャートは、次の手順で作成します。

①《インポート》ボタン（1）で、使用するテーブルを追加します。
②「ビジュアル」タブで、チャートの種類のアイコンをクリックします。ページにチャートが追加されます。
③各軸の《フィールドを追加》をクリックし、フィールドを選択します（「■ フィールドの選択」参照）。
④必要に応じて、「書式設定」タブで書式を設定します。
⑤《保存する》ボタン（30）で保存します。

■ フィールドの選択

軸の《フィールドを追加》をクリックすると、フィールドを選択する画面が表示されます。左側にテーブルとフィールドの一覧、右側に選択したフィールドが表示されます。

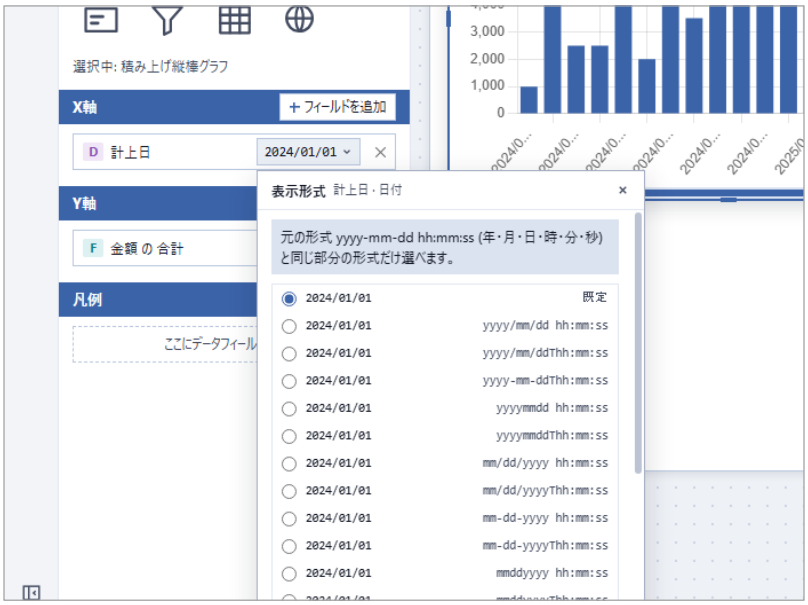


※使用するフィールドのチェックボックスをオンにし、《保存する》ボタンをクリックすると、軸にフィールドが追加されます。
※値の軸に追加した数値のフィールドは「合計」、文字・日付のフィールドは「件数」で集計されます。集計の方法は、軸のフィールドのメニューで変更できます。
※軸のフィールドは、ドラッグでほかの軸に移動したり、順番を入れ替えたりできます。「×」で軸から外します。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■ 日付・数値のまとめ方

グループの軸（X軸など）の日付・数値のフィールドをクリックすると、まとめ方（例：日付を年・年月でまとめる）を選択できます。

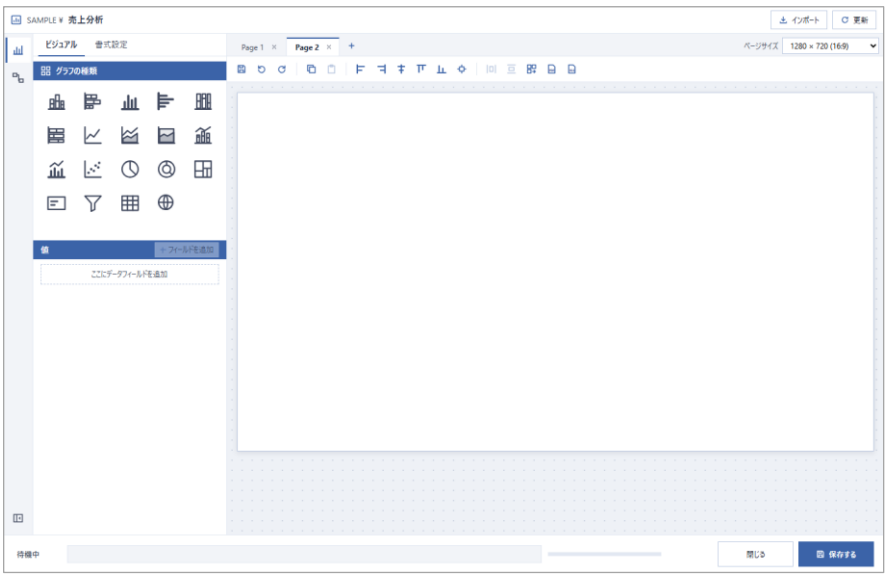


■ テーブルの追加

《インポート》ボタン（1）をクリックすると、プロジェクト（参照プロジェクトを含む）のテーブルの一覧が表示されます。追加するテーブルのチェックボックスをオンにして確定します。追加したテーブルは、すべてのチャートと「リレーションシップ」で使用できます。

■ ページの追加

《＋》ボタン（9）をクリックすると、新しいページが追加されます。



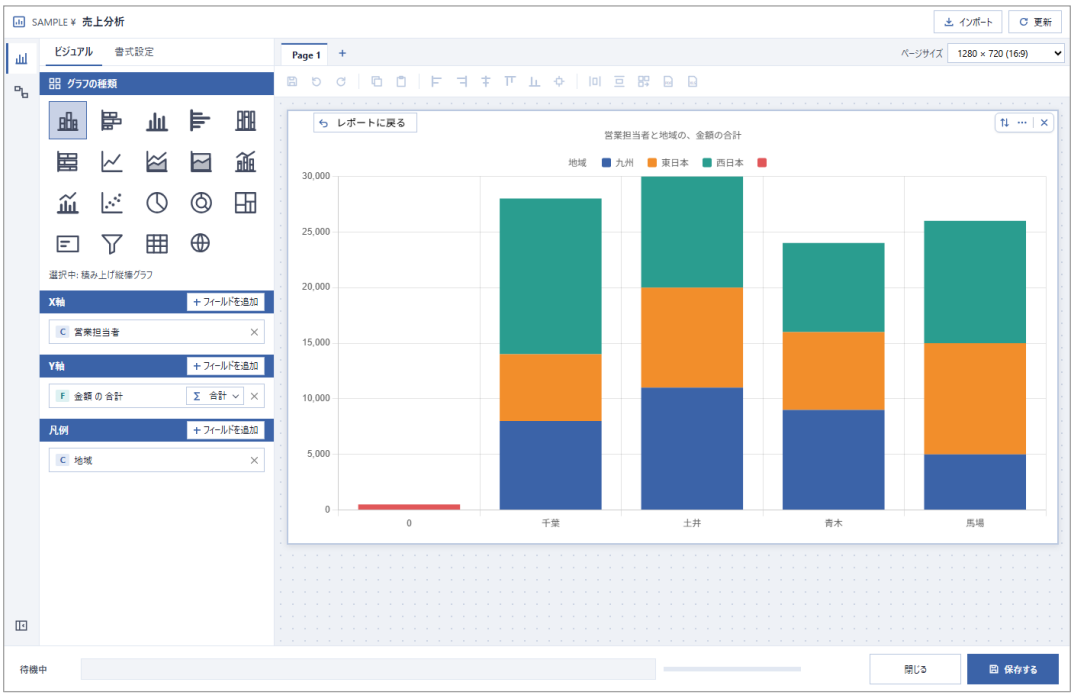
© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■ チャートのボタン

チャートを選択すると、右上にボタンが表示されます。

ボタン	内容
軸の並べ替え	グループの軸の並び順（値の大きい順・名前の順など）を変更します
フォーカスモード	チャートをページいっぱいに大きく表示します。もう一度クリックすると元に戻ります
テーブルとして表示する	チャートの元になっている集計結果を、表で表示します
…	「画像エクスポート」（画像で保存）、「データをエクスポート」（集計結果をCSVで保存）
×	チャートを削除します（確認「チャートを削除しますか？」で「OK」）

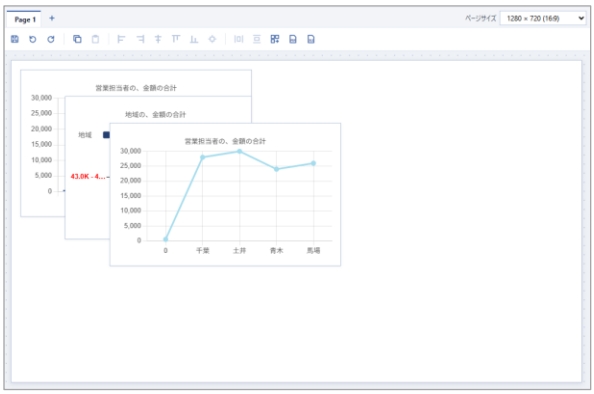
フォーカスモード

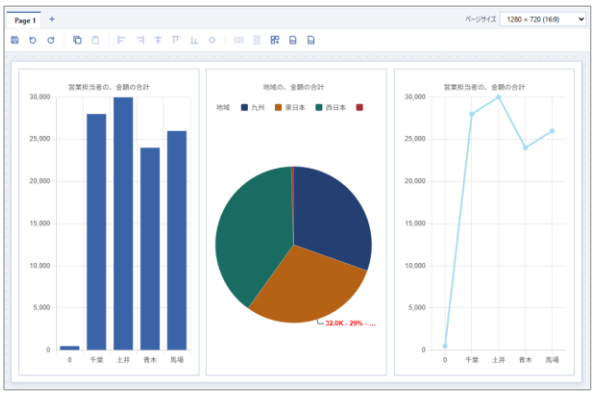


© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■ レイアウトの自動調整

《レイアウトを自動調整》ボタン（24）をクリックすると、重なっているチャートが、ページの中に重ならないように並べ直されます。

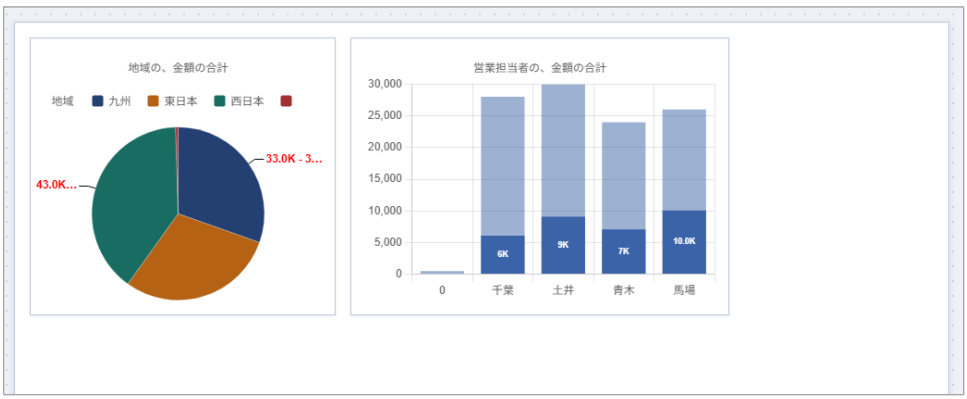




※ページに収まらない場合は、「ページに収まりません。ページサイズを大きくしてから実行してください。」と表示され、並べ直されません。

■ チャートの連動（強調表示）

チャートの一部（棒・円の扇形など）をクリックすると、同じページのほかのチャートで、その値に当たる部分が濃く、それ以外が薄く表示されます。もう一度クリックすると元に戻ります。

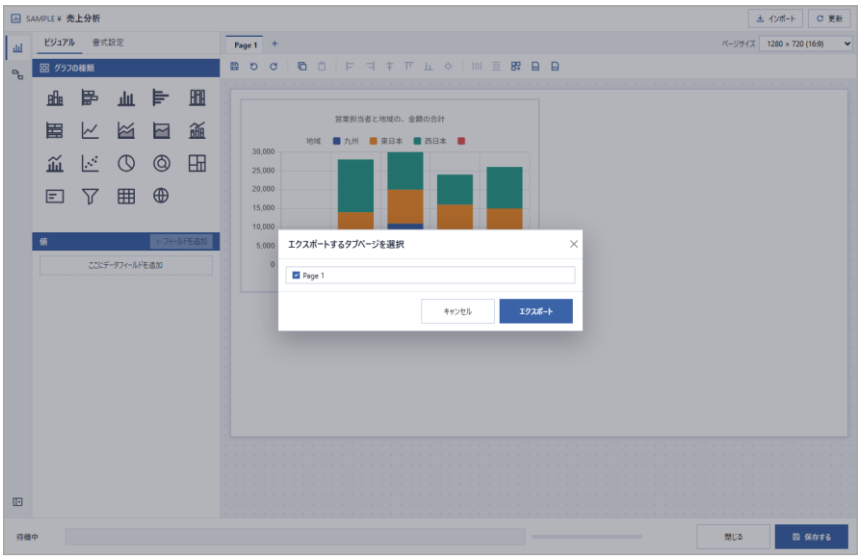


※例：円グラフで「東日本」をクリックすると、営業担当者ごとの棒グラフで、東日本の売上の部分だけが濃く表示されます。データは絞り込まれません（絞り込む場合は「スライサー」を使用します）。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■ エクスポート

《PDFをエクスポート》ボタン（25）・《Excel エクスポート》ボタン（26）をクリックすると、「エクスポートするタブページを選択」画面が表示されます。出力するページを選択して出力します。



◇操作ログ

《保存する》ボタンで保存すると、ページのチャートごとに、次のコマンドが1行ずつ操作ログに記録されます。

CREATE CHART TYPE "種類" **TABPAGE** ページ番号 **TABNAME** "ページ名" 軸の設定 書式の設定
WIDTH 幅 **HEIGHT** 高さ **CHART-X** 横の位置 **CHART-Y** 縦の位置 **PAGE-SIZE** 幅 高さ
DEFAULTFORMAT CHARTID "ID" **WITH DATA** "データファイル" **OPEN**

各キーワードの意味は、次のとおりです。

キーワード	内容
TYPE "種類"	チャートの種類（例：STACKED_COLUMN ＝積み上げ縦棒グラフ）
TABPAGE / TABNAME	チャートを配置するページの番号と名前
X-AXIS TABLE "テーブル" FIELD [フィールド]	軸ごとのテーブル・フィールド・集計の方法（SUM など）
書式のキーワード	書式設定の内容
WIDTH / HEIGHT / CHART-X / CHART-Y	チャートの大きさと位置
PAGE-SIZE	ページの大きさ（「ページサイズ」）
WITH DATA "データファイル"	チャートのデータファイル

※軸・書式のキーワードは、チャートの種類ごとの説明を参照してください。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■ 操作ログからチャートを開く場合

※チャートファイルを開き直すと、フィールド・集計の方法・並べ替え・書式・位置など、保存したときのとおりに表示されます。データは開いたときのテーブルから集計し直されます。

※操作ログのコマンドを実行し直すと、コマンドに記述された軸と書式で、同じチャートが作成されます。コマンドにない書式は、実行するパソコンの《チャート設定》の設定になります。

※チャートタイトルを入力していない場合は、フィールドに合わせてタイトルが自動で付けられます。

例

```
CREATE CHART TYPE "STACKED_COLUMN" TABPAGE 1 TABNAME "Page 1" X-AXIS TABLE "売上データ"
FIELD [営業担当者] Y-AXIS TABLE "売上データ" SUM FIELD [金額] LEGEND-AXIS TABLE "売上データ"
FIELD [地域] ･･･ WIDTH 620 HEIGHT 400 CHART-X 20 CHART-Y 20 PAGE-SIZE 1280 720 ･･･
```


© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.